

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月8日作成

事業番号						担当課等	水道課			
事務事業名	水道ビジョン・経営戦略策定業務委託									
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策					
P94 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	II 快適な住環境の構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推進	①～③					
関連する個別計画	湯河原町水道ビジョン									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
目的	国及び神奈川県の新たな「水道ビジョン」との整合性を図るとともに、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、50年、100年先の将来を見据えた水道の理想像と取り組みの目指すべき方向性やその実現方策を示す「水道ビジョン」を策定するものです。また、この「水道ビジョン」に掲げる実現方策を中長期的な視野で事業経営に取り組むための基本計画である「経営戦略」を策定するものです。									
対象	湯河原町上水道事業及び城堀簡易水道事業									
内容	水道ビジョン及び経営戦略策定									

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費			9,504,000		
	人件費			732,800		
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	732,800		
	総事業費	0	0	10,236,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	10,236,800		
	財源合計	0	0	10,236,800		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか
類似性	他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成29年度までの自己評価または改善点	なし(平成30、31年度の2ヶ年での策定業務委託)

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 水道事業者が策定するものである。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	現水道ビジョンの見直し及び経営戦略の策定
平成31年度以降の方向性	現水道ビジョンの見直し及び経営戦略の策定

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	平成30、31年度の2ヶ年での策定業務委託
------	----------	-----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

水道ビジョンを策定することで、中長期的な視野で事業経営に取り組む必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月8日作成

事業番号			担当課等	水道課							
事務事業名	配水管整備事業										
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	2	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P94 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	II 快適な住環境の構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推進	① 上水道の整備				
関連する個別計画	水道事業施設整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	配水機能の適正な維持と漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図る。								
対象	湯河原町上水道区域の受水者								
内容	老朽化した配水管を毎年定期的・計画的に布設更新する。 また、漏水等により早急な対応が必要な箇所についても随時対応する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	8,218,800	20,082,600	40,000,000		
	人件費	2,248,500	2,184,900	2,198,400		
	非常勤職員等					
	人件費合計	2,248,500	2,184,900	2,198,400		
	総事業費	10,467,300	22,267,500	42,198,400		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	7,400,000	19,000,000	32,000,000		
	その他特定財源					
	一般財源	3,067,300	3,267,500	10,198,400		
	財源合計	10,467,300	22,267,500	42,198,400		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
工事箇所数		配水管布設工事	路線	3	5	6

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	水道法の規定により町(水道事業者)が実施するものである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	老朽化した配水管を定期的・計画的に更新することで、漏水等の事故に未然に防ぐことができ、水道水の安定供給が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	漏水等の事項に対する未然防止と水道水の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原町上水道事業給水区域全域が対象であるため、受益の機会は均等である。
平成29年度までの自己評価または改善点	老朽化した配水管から順次、定期的・計画的に更新した。 下水道課及び土木課と連携し、合併工事とすることで経費の抑制に努めた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 水道事業の全体又は施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があるため導入には至っていない。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化している配水管から順次、定期的・計画的に更新する。
平成31年度以降の方向性	配水機能の適正な維持と漏水等事故の未然防止による安全安心な水道水の安定供給を図るため、定期的・計画的に実施していく。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	定期的・計画的に実施し、漏水等の事故を未然に防ぐよう努めること。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。
---------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月8日作成

事業番号						担当課等	水道課			
事務事業名	自動遠方監視装置更新事業									
予算科目コード	会計	水道	款	1	項	1	目	3	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P94 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	II 快適な住環境の構築	4 上下水道	(1) 上水道事業の推進	① 上水道の整備				
関連する個別計画	水道事業施設整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○						
目的	庁舎内から浄水場・配水池等計23施設の運転状況や水位・水量などの確認ができることで、気候変動やその他の影響による異常の早期発見と迅速な対応が可能となり、水道水の安定供給を図る。								
対象	湯河原町上水道給水区域の受水者								
内容	自動遠方監視装置の更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	30,000,000	30,000,000	30,000,000		
	人件費	常勤職員	7,495,000	7,283,000	7,328,000	
		非常勤職員等				
	人件費合計	7,495,000	7,283,000	7,328,000		
	総事業費	37,495,000	37,283,000	37,328,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	30,000,000	30,000,000	25,500,000		
	その他特定財源					
	一般財源	7,495,000	7,283,000	11,828,000		
	財源合計	37,495,000	37,283,000	37,328,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値	
監視業務	無休		24時間365日	24時間365日	24時間365日	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値	
断水事故・応急給水回数	事故「0」を目指す	回	0	0	0	

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町(水道事業者)が実施するもの
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 異常警報はあるものの、断水等事故を未然に防ぐことができているので、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 異常警報はあるものの、断水等事故を未然に防ぐことができているので、成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 湯河原町上水道給水区域全域を監視しているので機会は均等である。
平成29年度までの自己評価または改善点	24時間365日監視しながら異常警報時に迅速に対応していることで、事故を防ぐことができている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 水道事業の全体又は施設の維持管理等部分的な第三者委託は可能ではあるが、費用等も含めて検討する必要があり導入には至っていない。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	装置整備事業の最終年として、機器の更新を実施する。
平成31年度以降の方向性	平成30年度で更新事業は完了する。 平成31年度以降は、装置により事故を未然に防ぐよう努める。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	自動遠方監視装置の機能を維持しながら、事故等を未然に防ぐよう努めること。
------	----	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。
---------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--